

第12期（2021年度）日本図書館協会認定司書審査会第2回議事録

2022年1月8日（土）

13:50～18:00

公益社団法人日本図書館協会

2階研修室

審査会委員6名出席，事業委員会委員3名陪席

配付資料

資料1 日本図書館協会認定司書審査会，日本図書館協会認定司書事業委員会

資料2 第12期（2022年度）日本図書館協会認定司書審査会第1回議事録（公開用記録）

資料2 参考資料 同（委員会事務用記録）

資料3 日本図書館協会認定司書事業委員会規程

資料4 日本図書館協会認定司書審査要領

資料5 日本図書館協会認定司書の審査に関する申し合わせ

資料6 第12期日本図書館協会認定司書事業スケジュール

資料7 申請書類の受付状況について，審査料の入金状況について

資料8 審査の割当表

資料9 第12期認定司書申請書類の審査について

資料10 判定結果の記入方法

資料11 判定参考資料（当日閲覧）

資料12 日本図書館協会認定司書審査の審査結果について，日本図書館協会認定司書審査の認定料の振込みについて（認定者用・新規）

資料13 日本図書館協会認定司書更新審査の審査結果について，日本図書館協会認定司書更新審査の認定料の振込みについて（認定者用・更新）

資料14 日本図書館協会認定司書審査の審査結果について（非認定者用）

資料15 第12期日本図書館協会認定司書候補者の推薦について

1 審査会会長あいさつ

二年ぶりの対面開催を喜びたいが，新型コロナの状況も思わしくない状況。感染防止に配慮しながら審査を行っていきたい。電子化の中で形式は変わってきているが，審査については水準を保ち，例年同様に適切に対応していきたい。

2 議事録確認

大谷審査会委員（事業委員長）が第12期認定司書審査会第1回議事録（資料2）について確認した。

3 報告事項

（1）日本図書館協会認定司書事業委員会規程等について（資料3～5）

大谷審査会委員（事業委員長）から，規程類は変更ないとの報告があった。なお、協会としての暦年の書き方に一部混乱があるが、西暦（和暦）での記載とする方向で調整を進めていく。

(2) 日本図書館協会認定司書事業スケジュールについて（資料 6）

- ・大谷審査会委員（事業委員長）から報告があり，了承された。
- ・今後の流れとして，1 月 20 日（木）の常任理事会で報告（資料 15 の様式）し，承認を受けたのち，結果を申請者に送付する。異議申立てがあった場合，審議を書面等で 3 月に行う可能性がある。

(3) 申請書類の受付状況について，審査料の入金状況について（資料 7）

- ・申請番号の取得者は，29 名（新規 22 名，更新 7 名）だったが、最終的な申請者（審査料の入金確認済み）は 25 名（新規 19 名，更新 6 名）であり，昨年度より 1 名増加した。

4 審査

(1) 審査手順説明（資料 8～10）

- ・大谷審査会委員（事業委員長）から審査手順について説明した。基本は例年の審査と同様であるが、従来は特記事項として付箋を添付していたが、審査のデジタル化により、ファイルの方に委員会の方で追記していることを確認した。

(2) 審査（資料 11）

今回申請のあった 25 名（新規 19 名，更新 6 名）について，審査手順の説明に基づく審査を行った。

(3) 協議

判定の分かれた申請者について，審査会委員全員であらためて協議し，認定の可否を決定した。

5 協議事項

(1) 議案 1 認定司書審査の判定

- ・認定審査では 5 名（新規 3 名，更新 2 名）が協議対象となった。
- ・協議した結果を含め，最終的に 20 名（新規 15 名，更新 5 名）を認定司書候補とした。

(2) 議案 2 認定司書申請者の審査結果等通知と常任理事会への報告について

（資料 12～15）

- ・大谷事業委員長から以下の説明が行われ，了承された。
- ・基本は例年通りとなる。1 月 20 日（木）の常任理事会で報告した上で，1 月 24 日（月）付で申請者に審査結果を通知する。
- ・常任理事会報告資料（資料 15）は，新規・更新別に総括を作成する。認定されなかった理由については，不足されている要件を示す。報告書類は，個人情報が含まれるため，事業委員長・審査会長に一任し，鈴木副理事長に説明の上報告することが示された。

6 その他

(1) その他

審査会委員で意見交換を行った。認定司書の活動場を増やすことが課題であること、審査報告では、認定要件を充足しているものの物足りない人がいること、形式的な部分で認定されない人がいることについて明記する要望が出された。

以上